

令和元年 5 月 7 日

豊島区長 高野之夫殿

高齢運転者の交通事故防止対策に関する要望書

都民ファーストの会豊島区議団・民主の会  
幹事長 細川正博

4 月 19 日、日出町第二公園交差点で 87 歳の男性が運転する乗用車が暴走し、自転車で横断歩道を渡っていた親子 2 人が死亡、6 人が重軽傷を負った痛ましい事故が発生しました。

75 歳以上の運転者の死亡事故件数は全国的にみて 10 年間ほぼ横ばいで推移しているものの、死亡事故全体に対する構成比は上昇傾向にあり平成 30 年で全体の 14.8%を占めています。また、75 歳以上の運転者の死亡事故件数は 75 歳未満の運転者と比較すると、免許人口 10 万人当たり 2 倍以上多く発生しています。

今回のような悲劇を繰り返さないため、関係機関における高齢運転者の交通事故防止対策の一層の強化が必要です。

よって、下記について、要望します。

記

1. 本区で取組んできたセーフコミュニティ国際認証都市、交通安全都市宣言などを踏まえ、交通安全への更なる取組みを図ること。
2. 75 歳以上の高齢者に対する免許の自主返納を促進するための更なる特典や優遇措置などの更なる誘導策について都へ働きかけると共に、本区独自の優遇策を検討すること。
3. 区内の交通不便地域におけるコミュニティバスの検討を含め、福祉の観点から踏まえた高齢者の日常の移動手段に対する支援策を講じること。
4. 高齢者が運転する自動車を、被害軽減（自動）ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置など安全運転支援機能を備えた「安全運転サポート車」とするよう、国や都と連携し補助金等の支援策を検討すること。
5. 75 歳以上の高齢者に対する免許証の更新審査にあたり、以下の項目について都へ働きかけること。
  - (1)「認知機能検査」及び「高齢者講習」が適正かつ迅速に行われるよう、普及啓発や体制の強化を図ること。
  - (2)免許更新の際に「安全運転サポート車」を運転するよう促す方策につき、検討すること。

以上